

生活科部会 実技研修会 終了報告

テーマ	生活科教科書 ～活用のポイント～		
日時	令和7年7月31日(木)		
会場	石狩教育研修センター		
講師	相馬 孝行 氏(教育出版株式会社 教育 DX 編集本部生活科 編集長) 西本 千晴 氏(教育出版株式会社 教育 DX 編集本部 生活科)		
参加者	22名		
研修会 の 様子		① 教科書のしかけや特徴について 講師の方から生活科の教科書のしかけ・特徴について説明があった。教科書編成の最大の特徴は「見える化にこだわりぬいた教科書」ということである。例えば、教科書項目の「わくわくすいっち」は学習の動機づけのしかけ、「ぐんぐんはしご」は単元の満足度を示す指標、「はっけんロード」は学習のつながりを見る等、イラストを使いながら子どもの視覚に訴えるようなしかけが多数されていることがわかった。	
		② デジタル教科書の解説 クラウド上のコンテンツであるマイデジタル準備室について紹介された。いつでもどこでも指導書を見ることができ、本棚上のコンテンツを検索やリンク機能の紹介、ウェブサイトにとぶことができるものであった。便利なコンテンツが凝縮されており、活用の幅の広がりや教材研究の時間の短縮にも期待できるものであった。	
		③ 教師用指導書 紙面でしか見られないもの、おすすめコンテンツが紹介された。総説編・指導案編には、詳しい毎時間の指導の仕方や、評価の仕方等が紹介されていた。	
		④ まとめ 日々の授業準備はデジタル、より詳しく知りたいときは紙版もチェックといったように、それぞれのよさを使い分けて活用していくことがおすすめされた。	